

## 平成 29 年度 第 1 回糖尿病療養指導研修会(報告)

主 催 (公社) 熊本県栄養士会 医療事業部

日 時 平成 29 年 6 月 18 日 (土) 10:00~16:15

会 場 名 熊本県立大学 (講義棟 2 号館・中会議室 2)

### ◇午前の部

#### 講演Ⅰ 『当院での糖尿病療養指導(急性期病院)』

国保水俣市立総合医療センター 栄養科 田中 良 先生

#### 講演Ⅱ 『当クリニックにおける糖尿病療養指導

～患者さんの気持ちに寄り添った栄養指導を目指して～』

医療法人社団 杜の木会 もりの木クリニック 栄養管理部 末永 加奈子 先生

#### 講演Ⅲ 『回復期病院における糖尿病療養指導』

医療法人社団寿量会 熊本機能病院 診療技術部栄養課 課長 高山 仁子 先生

#### 講演Ⅳ パネルディスカッション

『栄養士の連携で糖尿病の「重症化予防と療養の質の向上」を目指そう!』

進行:国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院 栄養科科长 村岡まき子 先生

### ◇午後の部

《特別講演》『糖尿病エンパワーメント 患者さんの真のパートナーになるために

—日々の療養を振り返り、患者さんとの関係を深める—

ちくばクリニック 院長 竹馬 庸裕 先生

### < 報告 >

午前中は急性期、クリニック、回復期とそれぞれ役割の違う立場から、管理栄養士の先生方に各病院の取り組み、連携への課題について御講演頂きました。

田中先生からは病院での栄養指導や教育入院での指導の内容、水俣・出水・芦北地域での連携の様子を御講演頂きました。

末永先生からは糖尿病診療の流れや産婦人科との連携、患者会活動について御講演頂きました。

また、高山先生からは回復期での療養指導の取り組みやシームレスな連携のために脳卒中連携パスや食機能連携ユニットパス、栄養管理サマリーを具体的に御講演いただきました。

最後のパネルディスカッションでは、急性期、クリニック、回復期それぞれの立場からの考えや課題をご説明頂きました。各病院間の連携に加え、他職種の中で管理栄養士の役割を発揮できるよう、具体的に提案できる知識をつける必要性を感じました。

また午後からはちくばクリニックの竹馬先生に患者さんの真のパートナーになるために、グループワー

クや講義を通して患者さんの療養する力を高める療養指導を御講演いただきました。患者さんの訴えや思いに対し、指導側の思いでブロックせず、患者さんが自分で治療を決めて実行する、自己成長できる療養指導が大切と学びました。

参加者は熱心にメモを取る方が多く、真剣に聴かれていました。